

# 祥豊だより

平成29年3月  
京都市立祥豊小学校  
校長 長谷川 正  
特別号

## 学校教育目標 『人間性豊かに自立する子』

人を大切にする子・進んで学習する子・心と体を鍛える子

豊かに言葉を遣う子

## よりよい学校づくりに関する調査への ご協力ありがとうございました。

保護者の皆様には、「よりよい学校づくりに関するアンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。今年度は、ご家庭での親子の関わりを振り返ってもらえるように内容を工夫し、アンケートに答えていただきました。アンケート項目は、学校として大切にしているもの・保護者の皆様とともに取り組んでいきたいと考えているものです。全体の回答傾向と、今後も課題として重点的に取り組みたい点について若干の考察を加え、お伝えさせていただきます。

なお、考察においては「よく出来ている」「だいたい出来ている」を合わせて「出来ている」、「あまり出来ていない」「出来ていない」を「出来ていない」として表しています。

### 保護者アンケート

【確かな学力】	実現度			
	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
わが子は授業がわかりやすいと言っている。	31.0%	60.3%	7.8%	0.9%
わが子に人の話をしっかりと聞くように働きかけている。	13.5%	69.3%	16.1%	1.1%
わが子に宿題などの家庭学習の習慣が身につくように働きかけている。	30.2%	53.4%	15.3%	1.1%
わが子によく本を読むようにすすめている。	16.1%	35.2%	35.8%	12.9%

### 児童アンケート

【豊かな心】	じつけんど			
	よくできている	だいたいでいる	あまりできていない	できていない
わが子が自分からあいさつができるように、家でもあいさつをしている。	25.7%	54.8%	18.1%	1.4%
わが家では、子どもが責任をもってできるように役割を決めている。	12.0%	45.5%	38.1%	4.4%
わが子に忘れ物なく学習準備をしたり身の回りの整理整頓をしたりする習慣がつくように働きかけている。	14.7%	46.0%	34.7%	4.6%
わが子にきまりや約束を守るように働きかけている。	21.7%	62.9%	14.5%	0.9%

### 児童アンケート

【健やかな体】	じつけんど			
	よくできている	だいたいでいる	あまりできていない	できていない
わが子に、友だちを大切にし仲よくするように働きかけている。	45.0%	50.0%	5.0%	0.0%
わが家では、子どもが「早寝・早起き・朝ごはん」を実践できるよう心がけている。	27.0%	47.5%	22.6%	2.9%
わが子に自分から進んで運動するように働きかけている。	27.6%	46.6%	23.2%	2.6%

### 児童アンケート

【独自の取組】	じつけんど			
	よくできている	だいたいでいる	あまりできていない	できていない
わが子に安全に気をつけて登下校するように話している。	41.8%	54.4%	3.8%	0.0%

保護者・児童とも「授業がわかりやすい」に90%を超える回答をいただきました。これからも、めあてとまとめをはっきりさせ見通しをもって学習できるように授業改善に努めます。

「読書」については毎回課題として挙がってきます。今回も保護者の重要度98.6%に対して「出来ている」は51.3%でした。もっと本を読むようになるにはどうしたらいいのかと悩んでおられる保護者も多いようです。児童の75.7%が「出来ている」と答えているように、学校では学校図書館や学級文庫を活用して本を読む時間を設け、児童が本に親しめるようにしています。もっと本好きの児童が増えるように、読書活動を進めていますので、ご家庭でも良い本がいつもそばにあるように、環境を整えていただけたらありがとうございます。

「あいさつ」については、保護者・児童とも高い割合で「出来ている」の回答が寄せられました。気持ちのよいあいさつができるることはとても大事だと考えています。これからもあいさつの取組は続けていきたいです。

「家庭での役割」では、保護者の半数近くが「出来ていない」の回答です。対して児童は95.5%が「出来ている」でした。学校では係や当番の仕事を頑張っている子どもたちですが、おうちでのお手伝いはあまりしていないようです。子どもたちも学習や習い事などで忙しい日々を送っていることと思いますが、家族の一員として無理のない範囲の役割を担い責任を果たすことは、自己有用感を高めるために大切なことです。ぜひご家庭でも子どもたちに仕事をさせてみてください。

「早寝・早起き・朝ごはん」は、生活ふりかえりや保健だよりなどでも繰り返し呼びかけています。保護者の重要度も99%をこえ、大切なことはわかっていたいているのですが、実現度ではおよそ4分の1が出来ていないとの回答でした。お仕事等でお忙しい中、どうしても就寝時刻が遅くなったり朝食に時間がかけられなったりすることもあるのではないでしょうか。また、子どもに声をかけてもすぐに行動に移せないこともあるかもしれません。児童の方が「出来ている」が多いことをみると、これが普通と考えているのかもしれません。大人とは違って子どもには十分な睡眠が必要なのだとということを学級での指導などでしっかりと伝えていかなければいけないと思います。

「安全」に関しては、保護者の重要度は100%でした。実現度からも普段から子どもたちの登下校については気をつけるように話をしていることがわかります。児童も「よくできている」の割合が高いです。しかし、5.2%の児童が出来ないと回答しており、今後も日常的な声かけや安全指導の充実に努めていく必要があると考えます。